

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	スーパー（副店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大以降、内食需要の高まりで、スーパーでは依然として売上好調が続いている。今後は、ワクチン接種が進み、東京オリンピックが開催され、世間に平穏が戻って、景気は必ず回復する。
	◎	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が広がれば、飲食業界は景気上昇が見込まれる。
	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・自分が元気な間にできることをやっておこうという人が増えている。今月の仏壇処分の多さが、正にそれだと思う。墓の中のお骨についての相談も増えている。
	○	商店街（代表者）	・今年は前年と違い、新型コロナウイルスもある程度落ち着いてきている。学校のクラブ活動も、感染対策をいろいろと考えて、前年よりは活動状況が良くなるだろうし、当店も忙しくなると期待している。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染拡大の第4波や東京オリンピック、パラリンピックの開催可能性等、まだ先が見えないものの、国内でワクチン接種が進むことで、やや良くなるのではないかと。
	○	百貨店（店長）	・新型コロナウイルス次第ではあるが、地方では陽性者数も多くないため、来客数も増えてくるのではないかと。いずれにせよコロナ次第であることに変わりなく、3か月先の予測は難しい。
	○	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まるので、良くなっていく。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染が落ち着いて、ワクチン接種をする人も増えてくるとみており、何となく世の中が良い方向に向かっていると思うので、期待している。
	○	コンビニ（経営者）	・これから、新型コロナウイルスのワクチンが普及してくると思うので、やや良くなる。
	○	コンビニ（経営者）	・緊急事態宣言の解除により、来客数の増加が見込まれる。
	○	観光型旅館（経営者）	・例年と比べて2か月以上先の予約はほぼ皆無で厳しい。新型コロナウイルス禍による不安定な状況を繰り返しているため、客もぎりぎりまで予約をしない傾向がある。3度目の緊急事態宣言が発出されるような状況にさえならなければ、徐々に人の動きは出てくるとみている。ただし、それでも例年の5～6割程度の回復だろうと考えている。
	○	都市型ホテル（支配人）	・東京及び首都圏の緊急事態宣言解除によって、ビジネスマンの宿泊を伴う往來が見込まれる。ただし、今後新型コロナウイルスの感染拡大第4波による再度の緊急事態宣言発出やGo To Travelキャンペーン事業の再開次第で状況は一転する。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・当県独自の新型コロナウイルスの警報がそろそろ解除されることに伴い、客足が動くと思っている。法人宴会、レストラン、会食等が増えてくるのではないかと。
	○	遊園地（職員）	・引き続き、新型コロナウイルスの感染予防の徹底と、ホームページ、メルマガ、SNS等での話題作りや積極的な情報発信を行うことで、緊急事態宣言解除後の集客につなげたい。
	○	ゴルフ場（経営者）	・新型コロナウイルスの終息後は、少しは経済活動が活発化するのではないかと。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・東京オリンピックに期待したいが、先が不透明過ぎる。買換え需要しかない家電製品や耐久消費財の動きは厳しく、消費者の購入意欲を引き出すことは難しい。給与が上がったり、補助金が出る等の施策がないと、消費者の財布のひもは固く閉じたままである。
□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・早く新型コロナウイルスが収束し、客も元気を出して、消費活動をしてもらいたい。	
□	百貨店（営業担当）	・前年の4～5月は休業していたので、3月同様、売上等は前年比では良くなる。新型コロナウイルスの流行前と比べると、まだそこまで回復はしていかないと思うが、全体としては多少、上昇傾向になっていく。	
□	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第で、客の動向が大きく変わるため、注視している。	

□	コンビニ（エリア担当）	・客は新型コロナウイルスの感染状況によって敏感に動く。
□	コンビニ（店長）	・客の来店時間帯が、若干変わってきているが、減った時間帯を、増えた時間帯が補填するような状態である。ただし、特別な何かの理由で変わったわけではないと思うので、景気はこのまま余り変わらない。
□	衣料品専門店（経営者）	・人が動き始めれば、多少景気も良くなると思うが、今の時点では何ともいえず、期待もできない。
□	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの終息と景気対策が必要である。
□	自動車備品販売店（従業員）	・来客数は増えてきているが、新型コロナウイルスの影響もあってか、購入単価は横ばいかやや下がる傾向にあるため、総じて変わらない。
□	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス、変異株に対する効果的な治療が見つかるか、ワクチンの効果が絶対的であると分かるまでは、いつまでたっても景気回復は見込めない。
□	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種を早く進めてもらわないと、終わりが来ない。あと半年くらいで、何とかしてもらわないと、もう店が持たない。
□	スナック（経営者）	・変わらないと回答したが、悪くなるのではないかと。今の悪いまま変わらないという意味である。パブル崩壊、リーマンショック等を何とか乗り越えてきたが、この新型コロナウイルスだけは、どうにもならない、先が見えず本当に困っており、周りや他店のことなど考えている暇もない。コロナのせいにしたくはないが、本当に最悪である。
□	スナック（経営者）	・景気は戻るどころか、むしろ少しずつ悪くなっている感じがする。根本的に新型コロナウイルスが収束しない限り、だらだらとこうした状況が続くのではないかと、諦めている。
□	旅行代理店（副支店長）	・首都圏の緊急事態宣言が解除されたが、新型コロナウイルス感染者数が再び拡大しつつあるため、自粛ムードは続く。さらに再度の緊急事態宣言の発出やG o T o事業の一旦停止の解除時期にめどが立たず、旅行者も動きたいが動けない状態である。全て新型コロナウイルス次第だと認識する。
□	タクシー運転手	・新型コロナウイルスに対する世間の状況により、日々の売上が全く変わってくるので大変である。
□	通信会社（経営者）	・ゴールデンウィークまでの新型コロナウイルスの感染状況次第で、更に厳しさが増すと思われるため、注視したい。
□	通信会社（社員）	・特段、客にアピールする材料がないため、現状では上向きにシフトする見込みは薄い。
□	観光名所（職員）	・緊急事態宣言の解除で人の動きは増えつつあるが、今頃になって、地方の新型コロナウイルス感染者が増えている。当県でも警報が発出されている市町村があり、まだ、大手を振って出掛けられる状況ではない。
□	その他レジャー施設 [ボウリング場]（経営者）	・まだ新型コロナウイルスの感染状況に左右されるところが大きく、厳しい状況は続く。ワクチン接種が進んでいけば、少しずつ良い方向へ向かっていくのではないかと。
□	住宅販売会社（経営者）	・観光基盤の当地域経済の疲弊は深刻な状況にある。
▲	スーパー（経営者）	・巣籠り需要のピークは前年5月頃だと思うので、今後は前年比で徐々に低下する見込みである。
▲	乗用車販売店（経営者）	・半導体不足の影響で、新車需要に供給が追いつかないことが懸念される。
▲	乗用車販売店（経営者）	・半導体関連部品の供給不良を心配している。
▲	その他専門店 [酒]（店長）	・3か月後は、現状の新型コロナウイルスの変異株がかなり増えて、再び緊急事態宣言が発出されるのではないかと不安を覚えている。今も感染者数は減っておらず、逆に増えている状況なので、緊急事態宣言中と同じように行動するべきだが、需要にはなかなか結び付かないものの、街に人が出ており、大きな第4波を招く形になるような気配を感じている。前年よりも今年の方が対処がしにくく、大きな波にならないと願っている。
▲	一般レストラン（経営者）	・多くの人出により、新型コロナウイルスの感染が拡大している。ワクチン接種も不透明な状況で、自粛要請ばかりが目立っている。
▲	設計事務所（経営者）	・大型物件が少なくなってきており、小型の依頼が多い。
×	商店街（代表者）	・全く先が見えない。

企業 動向 関連 (甲信越)	◎	金属製品製造業（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響が少なくなり、良くなる。
	○	食料品製造業（総務担当）	・現在の新型コロナウイルス禍に対して、緊急事態宣言の解除やワクチン接種の開始等で、市況は今より活発になる予想である。しかし、依然として感染者数が高止まりしているのは懸念材料である。
	○	建設業（経営者）	・景気は新型コロナウイルスの状況次第だが、春になって、工事の問合せや受注も出てきている。
	○	金融業（調査担当）	・製造業では改善の動きが続くとみられるが、新型コロナウイルスの感染拡大第4波次第で、再び悪化の可能性もある。
	□	食料品製造業（営業統括）	・新型コロナウイルスの感染拡大第4波に入った感があり、自粛生活もしばらく続く。ワインの消費が厳しい状況から脱出するのは、当分難しいのではないかと。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・先行きはまだまだ不透明感が強く、経費削減等で対策するくらいしか対応方法が見いだせていない。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・案件は増えてきているが、確定する感触はやや薄い。
	□	金融業（経営企画担当）	・新型コロナウイルス感染の収束が見通せないなか、Go To Travelキャンペーンの一時停止や東京オリンピックの海外からの観客受入れ中止等、観光業や飲食業を中心に、厳しさが更に増す懸念もある。
	□	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率もまだ低く、国民全体に行き届くには時間が必要である。感染状況も予断を許さない状態のため、経済への影響は今後も続く。
	▲	一般機械器具製造業（経営者）	・取引先の部品調達問題で、受注見込みが減少している。
	▲	電気機械器具製造業（営業担当）	・案件が少なく、生産量の確保が難しい。
	▲	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・相変わらず、海外との往来ができないことで、中国人バイヤー向けの売上のめどが立たない。さらに東京オリンピックの影響で展示会場が確保できず、展示会の開催もスムーズにいかない。今年一杯は業界内の景気回復はない。
	×	食料品製造業（製造担当）	・4月からの価格表示方法の変更や、小売店、飲食店への販売数量が落ちているので、ますます悪くなる。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが本当に大変である。
	雇用 関連 (甲信越)	◎	—
○		職業安定所（職員）	・緊急事態宣言の解除により、対象地域だった近隣県からの来客が見込まれ、自粛ムードも緩和されることで、飲食店にも活気が戻ってくるのではないかと。
○		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことに期待している。
○		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス慣れしてきたため、感染拡大の第3波が収束し、第4波が確実視された場合でも、余り状況は変わらず、東京オリンピック等で、経済活動に変化が出てくるのではないかと。
□		人材派遣会社（営業担当）	・ベースアップも見込めない新年度を迎えるが、新型コロナウイルスの影響が響くとみているため、変わらない。
□		求人情報誌製作会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が増加しているなか、先行きは不透明であり、求人募集をする企業は少ない。
▲		*	*
×		—	—